

## 気候情報

# 2005年1月の日本の天候

## 気温は平年並だが寒暖の変動大きい

### 1月の天気概況

気圧の谷が概ね数日の周期で通過した。前半は、気圧の谷の通過後に寒気が入って冬型の気圧配置になりやすく全国的に気温が平年を下回る日が多かった。後半は低気圧が日本付近を頻繁に通る気圧配置が早かった。また、冬型の気圧配置は長続きしなかったため、全国的に気温が平年を上回る日が多かった。ただし、月末には強い寒気が入り全国的に気温が平年を大きく下回った。15日～16日にかけて日本の南岸を低気圧が発達しながら通過したため、関東甲信地方から東北地方の太平洋側を中心に大雨や大雪となった。

**上旬：**気圧の谷が北日本を数日の周期で通過した。気圧の谷の通過後は北から寒気が入って冬型の気圧配置が強まったため気温は全国的に平年を下回った。冬型の気圧配置になりやすかったことから東・西日本では日本海側は曇りや雪又は雨の日が多く太平洋側は晴れの日が多かった。一方、低気圧や前線の影響を受けやすかった北日本では全般に曇りや雪の日が多く、また、季節風が入りやすかった南西諸島でも曇りや雨の日が多かった。**旬平均気温**は、北日本で平年並であったほかは低かった。**旬降水量**は、北・東日本日本海側で多く北日本太平洋側で平年並であったほかは少なかった。**旬日照時間**は、北・西日本日本海側と南西諸島で少なく東日本太平洋側で多かったほかは平年並であった。

**中旬：**前半は冬型の気圧配置になりやすく気温は全国的に平年を下回って経過したが、後半は日本の南岸を低気圧が通過したため、南から暖かく湿った空気が入りやすく北日本～西日本にかけて気温は平年より高くなった。15日～16日には日本の南岸を低気圧が発達しながら通過したため、関東甲信地方から東北地方の太平洋側にかけて大雨や大雪となった。南西諸島は寒気が入りやすく旬を通して気温が平年より低く経過した。**旬平均気温**は、南西諸島で低かったほかは平年並であった。**旬降水量**は、北日本と東日本でかなり多く、西日本と南西諸島で平年並であった。**旬日照時間**は、北日本日本海側で多く東日本太平洋側で平年並であったほかは少なかった。

**下旬：**日本付近を気圧の谷が短い周期で通過したため、天気の変化は早かった。冬型の気圧配置は長続きしなかったため、全国的に気温が平年を上回る日が多かった。ただし、月末になると強い寒気が入り全国的に気温が平年を大きく下回った。低気圧や前線の影響で北日本日本海側で降水量が多く、東・西日本太平洋側では日照時間が少なかった。**旬平均気温**は、北・東

日本で平年並のほかは高かった。**旬降水量**は、北日本日本海側で多く、東日本で少なかったほかは平年並であった。**旬日照時間**は、北日本日本海側と東・西日本太平洋側で少なく、東日本日本海側で多かったほかは平年並であった。

### 1月の気候統計

**平均気温：**寒暖の変動が大きかったが月平均気温は全国的に平年並だった。北海道では平年を1°C以上回ったところがあった。

**降水量：**北日本と東日本では多く、西日本では少なかった。南西諸島ではかなり少なかった。東北地方と関東甲信地方では平年の170%以上となったところがあり、深浦（青森県）、銚子（千葉県）では1月の月降水量の最大値を更新した。一方、西日本では平年の40%未満となったところがあった。

**日照時間：**東日本では平年並だったが、北日本、西日本および南西諸島では少なかった。屋久島（鹿児島県）では1月の月間日照時間の最小値を更新した。

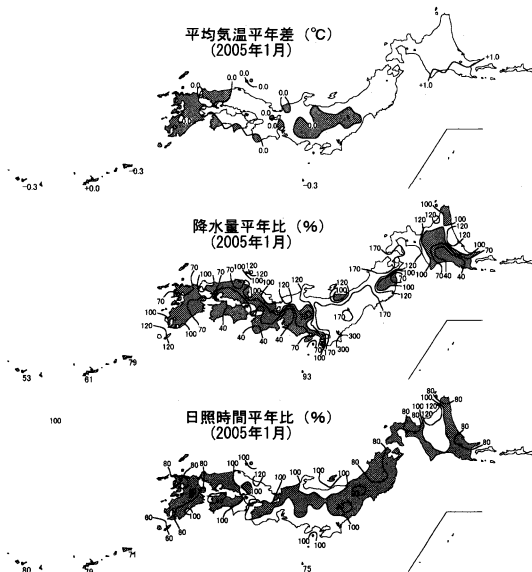
**降雪・積雪：**降雪の深さ（月合計）および最深積雪は、北日本や東日本の一部で多かったほかは平年並か少なかった。

（気象庁観測部統計室）

### 1月の記録（1位更新のみ）

- ・月降水量の多い方から（mm）  
深浦 204.0 銚子 272.5
- ・月間日照時間の少ない方から（時間）  
屋久島 34.5

### 2005年1月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す